

Press Release

平成25年7月3日
日本公認会計士協会

「公認会計士の日」大賞受賞者について

大賞概要

日本公認会計士協会では、7月6日を「公認会計士の日」と定めており、これに因み、「公認会計士の日」大賞を表彰制度として平成21年に創設した。

当該賞は、会計、監査等に対する社会的関心の向上に貢献した者、公認会計士制度の普及に貢献した者、公認会計士の社会的地位及び知名度の向上に貢献した者を対象とし、毎年、功積が顕著な者を表彰する制度である。

本年も昨年同様、公認会計士としての視点のみならず、広い視野に基づく多面的な選定を行うため外部有識者を加えた選定委員会において選定を行った。

第5回受賞者

大賞（1名）

島崎 憲明 氏

選定理由：島崎憲明氏は、住友商事株式会社の常務取締役、代表取締役副社長執行役員を歴任し、この間、日本経済団体連合会においては経済法規委員会資本市場部会長及び企業会計部会長を務めるとともに、金融庁の企業会計審議会委員、公益財団法人財務会計基準機構の評議員・理事などを歴任し、我が国における会計基準の質の向上に貢献した。

また、我が国において国際財務報告基準(IFRS)の導入が注目される中、2009年から国際財務報告基準財団(IFRS Foundation)の評議員(Trustee)を務め、各国会計関係者との良好な関係構築に貢献するとともに、IFRS財団初の地域拠点としてのアジア・オセアニア事務所の東京設置に専心し、日本からの意見発信の基盤作りと日本の会計分野におけるグローバルベースの地位向上に貢献した。

特別賞（1名）

北村 敬子 氏

選定理由：北村敬子氏は、永きにわたり大学教授として後進の育成に携わるとともに、金融庁の企業会計審議会委員として研究開発費など会計基準の設定、監査基準の改訂の審議に参画した。

さらに、公益財団法人財務会計基準機構の理事として企業会計基準委員会(ASBJ)のデュー・プロセスの監視・監督など、日本の会計制度の適正かつ深度ある発展に貢献した。

また、公益社団法人日本証券アナリスト協会企業会計研究会の座長を務め財務諸表の利用者の側からもディスクロージャー制度の発展へ貢献した。

これらの功績をたたえ、特別賞を贈ることとした。

選定委員会委員

「公認会計士の日」大賞選定委員会委員（敬称略）

委員長 萩原敏孝（公益財団法人財務会計基準機構 前理事長）
委員 引頭麻実（(株)大和総研 常務執行役員 調査本部副本部長）
委員 高田敏文（東北大学会計大学院 経済学研究科教授）
委員 木下俊男（日本公認会計士協会 専務理事）
委員 佐藤裕紀（日本公認会計士協会 広報担当常務理事）

以上